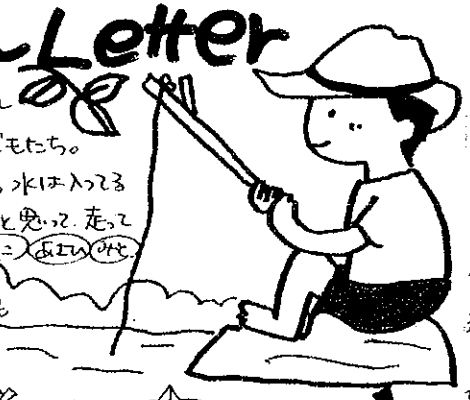
令和元(2019)年5月8日発行 第100号

こびとのおうちえんLetter 5月号



庭に大きな穴をほってプールをつくっている(くるみ)とこどもたち。
めっちゃ大きい！よくつくったなぁ～。水は入ってるけど、それでおわってるがんじ。私は、もったいない！と思って、走ってばしゃ～んと水しぶきあげてとびこんだ。それから、(あこ)(よしひろ)(みと)(ともや)(しょうと)(かおる)(もも)(はるだい)いと次々にジャンプしてとびこむ。何回も。どろだらけのあしも服もかおもまぶしい！ドロンコのきもちいい季節がやってくる。水のきもちいい季節がやってくる。満喫しよう！

4月はこんなことしました

- 川であそぶ
- 山の広場へいく
- 石垣のぼり
- えんどうまめとり
- まりぶの米であそぶ
- とんぼ・ちょうちょとり
- みんなでさんぽ
- すもう
- リレー
- 身体測定
- けいドロ
- イタドリとり・わらびとり
- 自然でつみき
- イモリとり
- 竹のこほり(収穫・ゆがく)
- えのぐでおえかき
- 穴ほってドロンコ水にジャンプ
- 鉄砲浦であそぶ
- etc…

おたんじょうびおめでとう!!

17にち やまもとあらたくん (6さい)

5月のスタッフプラン

・のいちごつみ

17日(金) おべんとうのひ
伊保庄でマテ見ほり
☆おべんとうの準備をお願いします。

お母さんグループのお知らせ

「お母さん」は休みなし。でも、時々「私」自身にもどる時間も必要です。「話す」こと、「聴く」ことで、ふとした気づきが生まれたり、少し楽になったり…。
問題解決や悩みの除去にとらわれずに、ていねいに自分に触れる時間。そんな時間をご一緒できたらと思います。
聴き合うグループを軸に、時には体験学習を交じえながら月1回行っています。ぜひ、ご参加くださいね。
今月は、5/21(火) 13:00－15:00
場所は、未定です。(決まり次第ご連絡しますね。)
内容は「フィーリンググループ」「勇気づけゲーム」

参加したい方は、事前にご連絡下さいね。当日もOK!!

_____ の様子をおしらせします。

連休中、半分は実家ですごした。実家の片づけ中に昔の通信簿や絵やノートなんかが出てきて、妹たちも帰ってきてたので、みんなで広げてワイワイと盛り上がった。
私の通信簿…行動や生活面？の欄に書かれていたのは、「自分から発言しない」とか、「自分から行動しない」というような内容のこと。これ1年生から中学まで、ずっと書かれてた。自主性と創造性の欄は、いつも空白だった。
改めて自分の質みたいなのを感じた。人はあんまり変わらないもんだ。私はいつも自主性のある人や創造性のある人に憧れてもいた。
自分の意見はなかったのかな…。勇気がなかったのかな。まちがえるのがこわかった？人にどう思われるのかが気になってた？そのころの気持ちがはっきりとは思い出せなくても、きっとそんなことが心の中にあっただろうと思う。ただ、ずっと、もしもそんな面ばかりを見ずに違う視点で見てもらえたら、どんなにうれしかっただろうと思った。私にはずっとできなかった」あなしさがつきまとっている。
あと、人といる時に思うのが、私はかわいげがない。ということ。かわいげがないから、人に(よられない)し愛されないと理由づけていたと思う。特に中学生の時には、外でいい子の分、ストレスや不満を家族にぶつけていた。中学生の時に書いた寄せ書きには「素直」と書いてある。素直になりたかったか？(のね。)
以前、援助職の研修時、人と関わる仕事をする人に必要な質は何だと思うか？という問いに「愛嬌」と答えた人がいて、本当納得と思ったことがある。また、もってない…ことに悲しくなった。どうやら、いつも「もってないもの」に焦点があたっていたようだ。
私の中で、今、こどもたちに自主性や創造性が豊かに発揮されたらいいなという思いはある。かなり大きくあると思う。自分には足りてないのにそれを望んでいるというのには、いささか矛盾も感じるけど、大切だと思える。
今、おうちえんを始めて10年目を迎え、私自身が、自ら選んで動き、その時の気持ちを発し、自分自身は平凡ながらも、いろいろな人と出会って足りないところを助けてもらいながら、創りつづけてきていることは、喜びそのものだ。
人前で意見をいうのが苦手な子がいる。しずかなのが好きな子がいる。きもちをつかむのが難しい子がいる。だれかに合わせるのが落ちつく子がいる。自分の意見ばっかり通そうとする子がいる。いろんな子がいる。
私は、いろいろでいいって思っている。安心して、自分を出せて、その中で、人とのまっすぐであたたかい関係や自分で自分をこえるような体験をくり返せるような時間と場所を共につくっていけたらと思う。実際、子どもたちの成長力は、すごい。無駄なことは、ひとつもない。こどもたちは、いろんな形で、私自身に学んでね、と機会をくれている。
そして、やっぱり「もってないもの」じゃなく、「もっているもの」に焦点をあてて(もってないと決めつけるのもやめて)自分のことも人のことも感じていたいと思う。
私は、文字を書くことや、文章を読むこと(音読)が好きだった。絵をかくのも歌うのも好きだった。そんなことで自分を表現していた。なつかしく愛しい時間があった。
4月のあたま、15年ぶりに会った子に、笑い方と声は覚えていると言われた。私は、今日も、ここで笑っている。

宮野嘉子

よっこのちょこっとおうちえん日誌～日々のあれこれ～

(かおる)に、「自由、うたちゃん、よっこみて～立ちいちゃったんよー。」と言ったら、「かあさんがいいっておもうときやったとおもう。よっこがいいっておもうときもあるとおもう。」って。(4/22)

つみきの片づけは、いつも時間がかかる。箱の中に、きっちりつめるのには、パズルのようで頭もつかう。
やっと、つめおわったとき、(ちさ)が「よっしゃー!!」と声をあげた。(4/24)

モーニングミーティングの時、(はるだい)は、やりたいことをすごく小さな声でいう。となりにいた(ろくだい)に何ていってるかきいてみて。とたのんだら、(はるだい)は、(ろくだい)の耳に話しはじめる。
なんて？ときいたら
(ろくだい)「あったかい空気しかこん。」(4/24)

ミニリケン作りをしてる(みと)。やったことがあるのを思い出して作りはじめるけど、わからなくなったので、よっこに「おしえて。」と言ってくる。1つつくって、また「おしえて。」をくり返して、ずっとずっと熱中してつくっている。作るのがおもしろくて、午前中、ずっと作りつづけていた。9このミニリケンができた。他のことには目もくれず、取りくんでる姿がすごくすてきで、「おしえて。」と自分から言ってきて、しかも一生けん命おぼえようとしてる姿とその前のおだやかな姿が心打った。(4/24)

雨の中どけいドロ。(ろくだい)が「雨がふったらピッチャン、チャン！」とさけんでる。私が「雨がふったらポンポポンポン！」とつづく。これは、絵本「おじさんのかさ」の一節。おやつの時、かみなりがなる。すると(みと)が「かみなりさまが顔かいてくれー！ってくるかも♡」という。これは絵本「せんたくかあちゃん」のお話にでてくるユーモア。すると、偶然だれかが「せんたくかあちゃん」をチョイスして、よんでほしい本のところに置いている。
おー！ナイス!!(4/24)

フキをとってきてゆがこうと、ほうおうを作って準備してると、(ろい)が「たき火したい！」とやってきた。地面がぬれてるけど、いけるかなーと(ろい)と話しながら、2人で火が消えないようにがんばる。そのあと、ゆがいたフキの皮むきも(ろい)と2人でした。その時間がとってもうれしかった！(4/24)